

尾鷲市九鬼町

# 絶景オハイへの山歩<sup>さんぽ</sup> 虎の巻



この山道、すごくきれいじゃないですか。

実はこの道、大配（オハイ）へ続く山道です。

そう実は、オハイへは簡単に行くことができません、  
オハイへ行くという事は、海と山の絶景を眺めることが  
できる登山です。

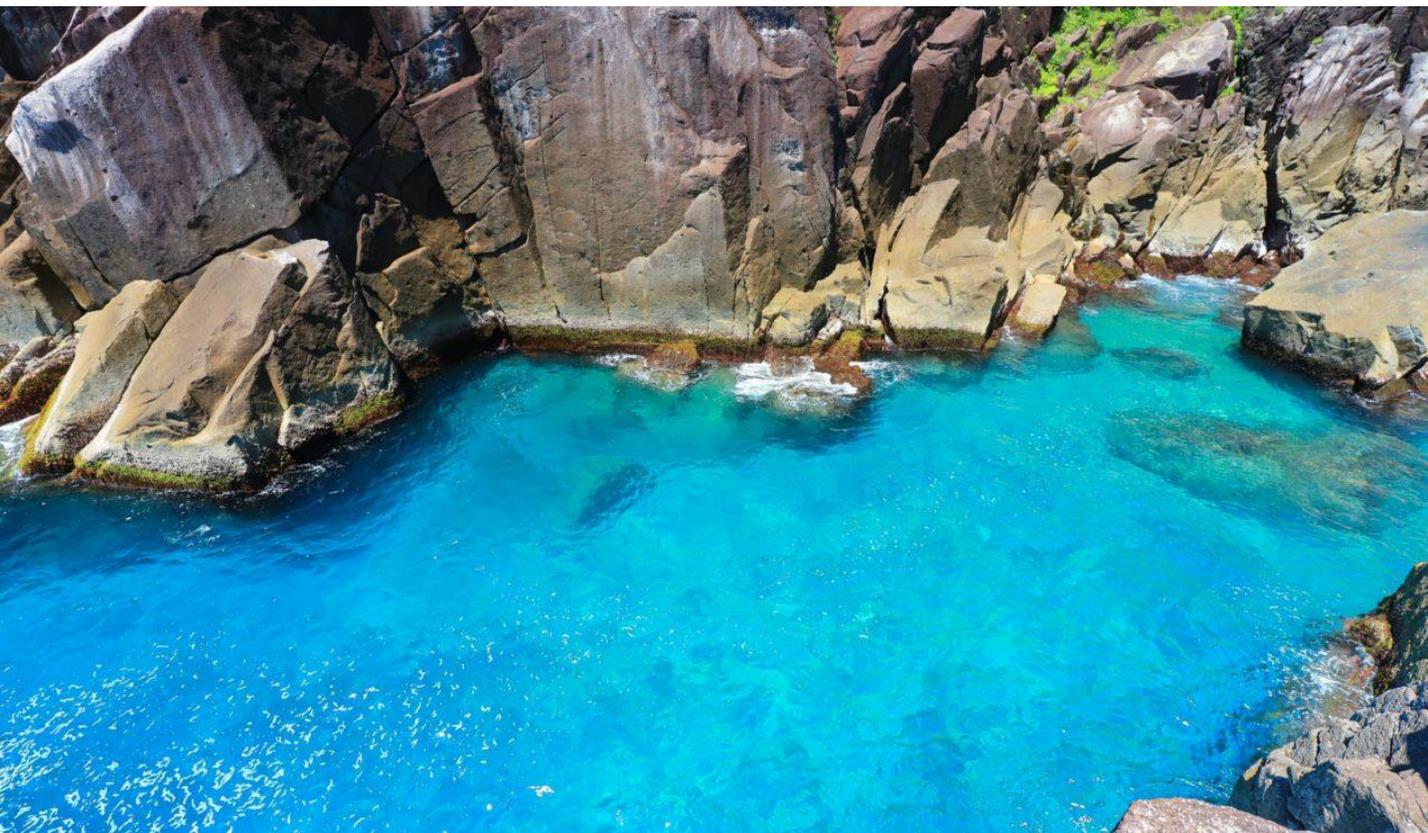


さあ、オハイへの準備を始めましょう。  
オハイへは簡単には行けないと言いましたがきちんと準備をすれば必ず辿り着けます。  
まず、ルートを見ながら計画を立てましょう。  
今回は、オハイが初めてのの方の為の九鬼の街並みを見ながら**旧九鬼小学校裏**を通るルートです。  
健脚であれば1時間30分、**初めてのの方は2時間から3時間の**余裕を持った登山計画をお願いします。



柱状節理と太陽が織りなすオハイブルー  
大配（オハイ）は、熊野灘に面した尾鷲市の九木崎にあり、  
柱状節理の切り立った崖の奥に日が差し込むと、海中が透き  
通って青く輝きます。

オハイブルーを見るためには、オハイが熊野灘に面し、尾鷲  
の東に位置する岬であることから、太陽が東にある**午前中**に  
**到着する必要**があります。



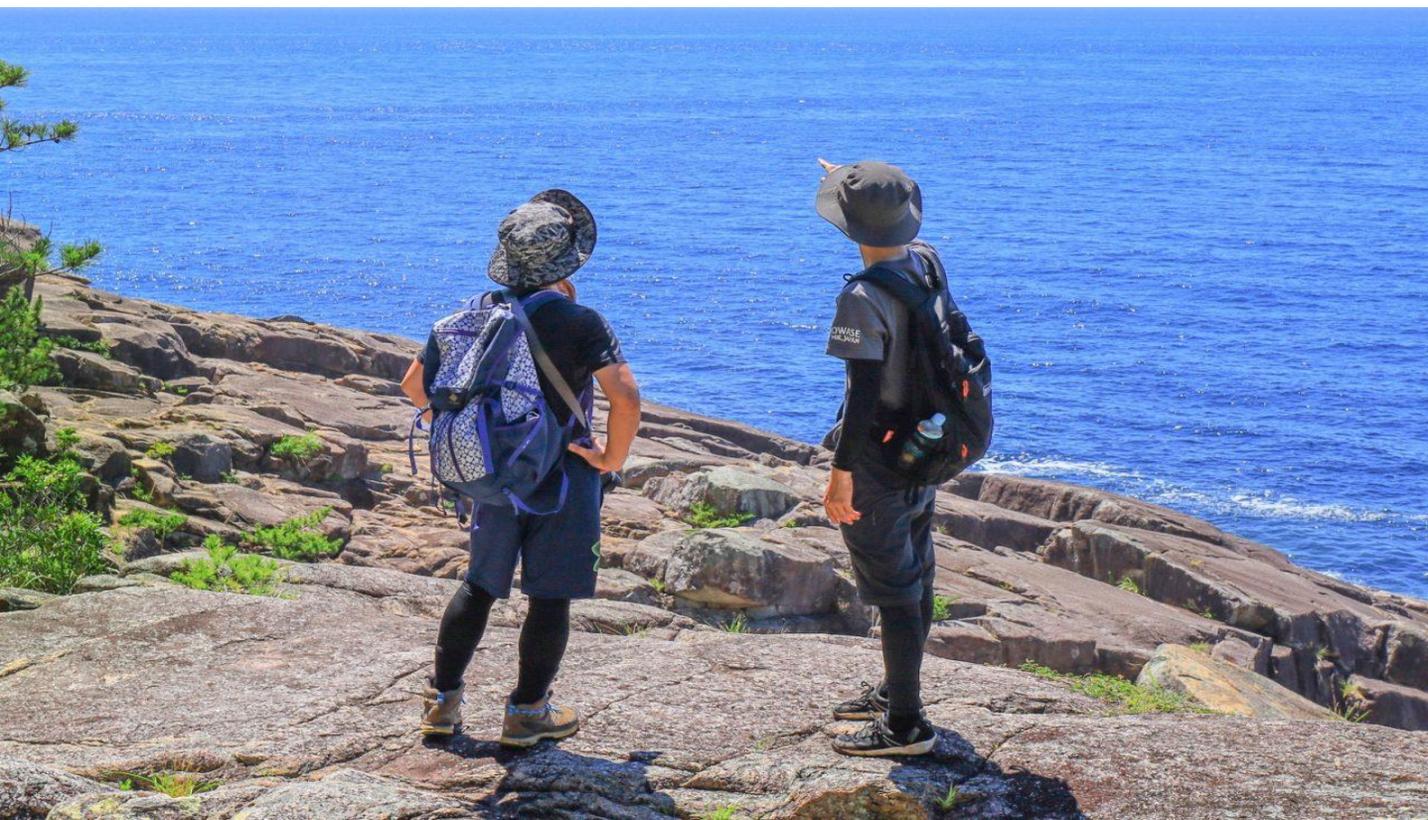
## 服装と持ち物

軽登山の服装で十分です。

トレッキングシューズ又はスニーカーを履き、夏場は虫よけ、水分は余裕をもって準備しましょう。

その他、エイドキット、非常食を兼ねて昼食を準備しましょう。

夏場の登山における熱中症は、命に関わります。登山前と登山中のこまめな**水分摂取**と休憩を意識しましょう。



## 駐車場と公共交通

### 自動車でお越しの方は

名古屋、大阪方面 紀勢自動車道 → 尾鷲北IC

和歌山方面 熊野尾鷲道路 → 尾鷲南IC

九鬼コミュニティーセンター横/JR九鬼駅裏に駐車場があります  
JRをご利用の場合

尾鷲駅 → 九鬼駅

### 地域内公共交通ふれあいバスをご利用の場合

尾鷲駅又は尾鷲市病院前 → 中学校前



船が宙に浮いてるように見えませんか？

九鬼町は海がとっても綺麗な町です。

堤防やガードレールが少ないことが、今どきめずらしく  
海と山と町並みをより調和させます。

町全体が美しいので楽しくなりすぎて、道いっぱいには広がらないようマナーを守って。ここは九鬼の方の生活の場です。



まずは、けいこの小さな山の家

この施設は2021年に九鬼町地域おこし協力隊の  
可知 景子さんがオープンに携わった案内所。

こちらには**登山届**と**ポスト**を準備していますので登山届  
をまだ提出されていない方は、提出にご協力をお願いします。  
帰りは2Fで海を眺めて休憩してみてもは。



美しい九鬼の町をテクテク歩いていきます。

ここは、九鬼郵便局。

ここまでにいくつか自動販売機がありますがここが最後の自動販売機、飲み物をお忘れの方は現地調達を。

熱中症には、**登山前**と**登山中**の**水分摂取**が大切です。



九鬼郵便局からすぐそこに、こんな建物が見えてきます。  
左に曲がると**旧九鬼小学校**を經由して大配（オハイ）、  
右へ進むと九木神社へ、神社の樹叢は国指定天然記念物です。



オハイの登山口は旧九鬼小学校の裏手にあります。  
町中は、美しい石積みの家屋や石の階段で迷路のようになっていますが「オハイ方面」という看板があちこちにあるので、それを頼りにオハイへ向かいます。  
大配=オハイなのでお忘れなく。

# 旧九鬼小学校



オハイ方面

旧九鬼小学校の裏手に回ります。

校舎の裏手は、九鬼の町並みを眺めることができる絶景ポイントです。

海を囲むように建物が密集している姿は漁師町ならではの風情で、見た方はきっとこの町が好きになります。



校舎を過ぎると緩やかな坂道が続きます。

九木崎遊歩道・大配方面の看板が見えたらここが今回のルートに登山口だと思ってください。

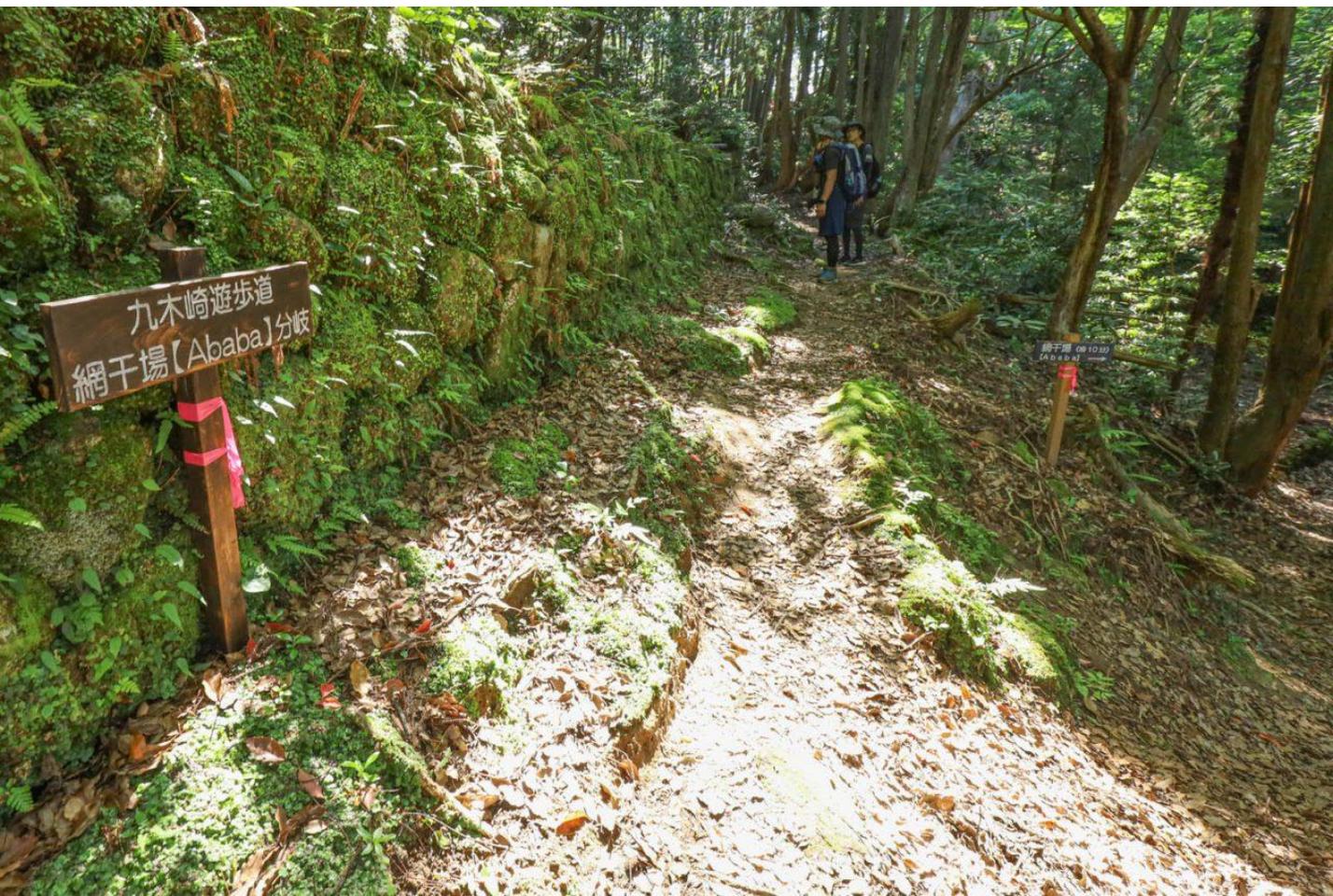
案内板は充実していますからピンクのテープを目印に。

道中は、GPSは通じますが一部で**携帯電話が圏外**になります。



ピンクテープは登山道の目印なのですが、時々分岐点が現れます。オハイに行くには海側（下）には降りずまっすぐに進んでください。

オハイに到着するまでの間の人工林も自然林もとても美しいので時々立ち止まって、眺めながら水分補給を。



オハイに到着、ここまでおおよそ**2時間**ほどかかります。  
緩やかに見えますが、実は急な場所が多いのでゆっくりと。  
オハイブルーが見られるポイントは2か所あり、左右に分かれた先でそれぞれ鑑賞できます。  
海は逃げないので、あわてず あせらず ゆっくりと。

オハイブルーのポイントは2つあります



まずは左側。あわてず あせらず ゆっくりと。

これがオハイブルーです。

一度見たら忘れられないような**“青”**がそこにはあります。

午前10時～12時ぐらいが日当たりの良い時間で、影に入ると透明度が落ちて見えるので11時までには辿り着きましょう。



次に右側へ。こちらも美しい“青”が広がっています。

SNSでよく見る場所は、こちらです。

滑落に注意して、無理のない範囲で楽しんでください。

近年の、オハイでの事故で消防の出動が大幅に増えています。

その原因は、オハイを登山と考えなていない極めて軽装での

登山、水分の不携行など無計画での登山の事故です。



何度も言いますが、とても美しいです。

美しさをみんなで楽しんで利用するには、みんなでマナーを守りましょう。地元の生活圏で事故が起こると誰も良い気はしません。ロッククライミング、飛び込み等そういった行為は命に関わり個人の責任にはとどまらないのでご遠慮ください。みんなでオハイ、そして、九鬼町を大切にしましょう。



老舗の干物屋さん「浜千商店」さん。

九鬼港であがった魚を1匹1匹手作りで丁寧なお仕事をされています。オハイの帰りに寄ってみては。

老舗の干物屋さんですが、HPやSNSが充実しているのでHPで営業日をご確認ください。桜干し、花かつおが人気です。



九鬼町を楽しんだら、ぜひ尾鷲市向井にある海洋深層水を使った美肌効果のある**温浴施設「夢古道の湯」**で体をゆっくり休めて帰ってください。

休憩スペースではヒノキの香りも楽しめますよ。

